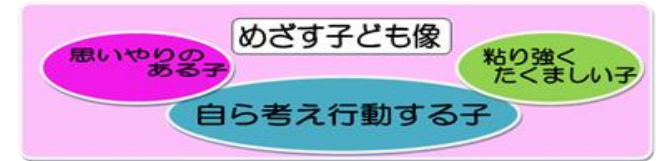




### めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校みんなが安心できる居心地のいい学校  
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切）



令和4年（2022年）8月26日 発行・野畑花だよりは、野畑小学校のホームページでもご覧いただけます。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nobatake/

① いつもここに ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

## 2学期スタート！感染予防対策をしっかりと行っています。

今年の夏は、大阪では35℃を超える酷暑といわれる日が続き、毎日熱中症警戒アラートが出される本当に暑い夏でした。一方で北海道や東北では記録的な集中豪雨に見舞われました。

また、今年は夏休みに入ってから新型コロナウイルスの感染拡大が続き、今も感染は高止まりしたままの状態です。

コロナ禍における3年目の夏、今年は行動制限のない35日間のお休みでしたが、皆さんはどのように過ごされたのでしょうか。

昨日子どもたちは汗をかきながらマスクをつけて、「おはようございます。」と元気に登校してきました。休み中に5名の転入があり、全校児童は669名となりました。

始業式もオンラインで行いました。子どもたちに“全米女子アマチュアゴルフ選手権で優勝した17歳の馬場咲希さんや、9歳4か月で囲碁のプロ棋士になる藤田玲央君のニュース”から「自分の個性、良い点」とはどんなことか考えてもらいました。「みなさんにはいろいろな可能性があります。自分の良さをいかして2学期もがんばりましょう。」と話しました。新型コロナウイルスの感染対策と熱中症予防により一層注意しながら、教育活動を進めて参ります。

2学期も子どもたちの健康を第一に、教職員一同力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。更なるご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



学年	男子	女子	合計
1	56	54	110
2	58	56	114
3	60	46	106
4	57	56	113
5	50	60	110
6	58	58	116
合計	339	330	669

8月25日現在

### 夏休み中の児童の居場所づくりから

#### 水と親しむ事業

今年は教育委員会が校庭開放と水と親しむ事業として、各学年1時間プール開放と校庭の水遊びを企画してくれました。

（プール開放）高学年は少ない人数でしたが、中低学年は30人以上の参加し、全校で110名の子どもたちが参加しました。いつもの指導とは違って、ビート板を使って浮かんだり、追いかけっこをしたりと自由にプールの中で思う存分使って、遊んでいました。



（校庭の水遊び）は低学年で84名もの参加があり、用意してもらった水鉄砲がたりなくなりましたが、交代で使用してかけあったり、ビニールプールに入って全身ずぶぬれになったりして、暑さにまけずに楽しみました。



昨日から毎日の健康観察は、「コードモン」に入力していただくようにしています。健康観察と欠席や遅刻の連絡は当日8時20分までにご協力をお願いします。それ以降の連絡は電話をお願いします。（返信機能はありませんので、折り返し電話をかける場合があります。）

また欠席や遅刻以外の連絡は、連絡帳か電話でお願いします。

まだ、登録が確認できていない方には、再度IDとパスワードを記載したプリントを配布しました。すぐに登録をお願いします。これまで使っていた学校メール（すぐメール）は使用しませんので、ご注意ください。

### 《よろしくお願ひします》

介助員・・・

スクールサポーター・・・

学生ボランティア（2週間程度）

1学期の終わりに、本校保護者の方から、世界中の子どもたちに絵本を贈るプロジェクト“えんとつ町のペル『こどもギフト』”のことを紹介いただきました。

たくさんの本に出会ってほしいという私の願いとプロジェクトの趣旨が重なって、この度1年生から3年生全員に一冊プレゼントしてもらうこととなりました。大切に読んでください。本の世界が広がってくれるとうれしいです。（裏面に絵本寄贈について載せています。）

※ 9月14日（水）が保護者負担費（4～6年積立金）の口座振替日です。引き落とし日前日までに口座へ入金をお願いします。

## 保護者の皆様へ ～絵本の寄贈について～

この度、えんとつ町のブペル『こどもギフト』プロジェクトとして  
野畑小学校の1年生から3年生の子どもたち全員に  
絵本『えんとつ町のブペル』を寄贈させていただくことになりました。

### ■『こどもギフト』プロジェクトとは

本プロジェクトの趣旨にご賛同いただいた皆様から、一人あたり毎月絵本一冊分の寄付を  
いただき、スタッフが責任を持って全国(世界各地)の子どもたちのもとへ絵本をお届けして  
います。

### ■株式会社CHIMNEY TOWNとは

絵本『えんとつ町のブペル』の作者であるキングコング西野亮廣が創業しました。  
子どもたちへの絵本の寄贈活動をはじめ、ミュージカルや映画の製作のほか、多岐にわた  
る活動を行っています。

### ■寄贈に際してのお願い

寄贈の際、絵本をお渡ししている様子や絵本を読んでいる子どもたちの様子を撮影させて  
いただきたく、その方向でご相談させていただいております。  
写真は、サポーターの皆様へのご報告や、このプロジェクトの広報のため、ホームページ  
やフェイスブックなどにて発信させていただくことがございます。顔出しの有無などにつきま  
しても先生方としっかり確認させていただいて大切に取り扱い、使用許可を受けたデータのみ  
利用させていただきます。

### ■最後に

これからも沢山の子どもたちに絵本をお届けできるよう、活動を行ってまいります。  
ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

株式会社CHIMNEY TOWN  
『こどもギフト』担当 三木 佐江子



えんとつ町のブペル『こどもギフト』  
[https://salon.jp/child\\_gift](https://salon.jp/child_gift)



